

DEVELOPMENT 高石駅前広場の芝生化について

— 高石駅周辺エリアを「訪れたいくなる。歩きたいくなる。過ごしたいくなる」まちへ —

12月議会予算委員会

高石駅前広場の芝生化をはじめ居心地の良い※ウォーカブルなまちづくりを進めることで、多世代が交流し生活が豊かになるまちの拠点として活性化を図ります。(高石駅前広場の芝生化は令和5年3月末を予定。)

※『ウォーカブル』なまちづくりとは本来、都市は人と人が出会い、交流する場であり、その中でも特に公共空間である道路や公園は、誰もがアクセスでき、多くの人が集い、滞留し、交流する機会のある場所のこと。



Check! 01 アプラたかいしと高石市が連携して高石駅周辺の開発

2002年完成後、19年を経たアプラたかいしにおいては、2021年5月の南海本線高架化の完成を目途に、2021年2月に1階のリニューアルを、また、2021年8月にはTSUTAYA BOOKSTOREの誘致に加え、国の支援を得ながら多世代交流空間の整備を行うなど、2階の全面リニューアルを行いました。



課題の駐輪場対策は、駅前広場の整備に合わせて(地下自転車駐車場の)自転車用エレベーターの設置等利便性の向上を進めつつ、放置自転車に対する啓発・声掛け、市営駐輪場及びアプラ駐輪場への適切な誘導、放置自転車の撤去に加えて、駅前広場を通過する際は自転車を降りて頂くことを徹底するなど、ハード・ソフトの両面から駅前広場の整備を行います。



Check! 02 高石駅周辺エリアを「訪れたいくなる。歩きたいくなる。過ごしたいくなる」まちへ

令和2年度に策定いたしました「高石駅周辺整備基本構想」において、居心地が良く歩きたいくなるまちなかを目指し、魅力的な駅周辺エリアとなるよう整備を進めます。

新しく生まれ変わる駅前広場は、日常は緑豊かな滞在空間として、楽しそうに遊ぶ子ども達や、それを見守る大人達など、気づけば人で賑わう空間として、また、イベント時は市民活動の表現の場として、活力あふれる開かれた空間を目指して参ります。



////////// 松本 よしひろ プロフィール //////////

2011年4月初当選、3期目。妻、2男1女の5人家族
高石市第十区子供会会長、高石市第十区奉賛会会長、東羽衣小学校PTA会長、
高石市こども会育成協議会会計、アプラたかいし商店街理事長兼販促部長、
アプラホール実行委員会委員、高石商工会議所青年部所属

NEWS vol.39

高石市から大阪、日本の未来を考える！
高石市議会令和3年度 第1回定例会～第4回定例会報告

松本 よしひろ

高石市東羽衣3丁目15-16 TEL 072-247-8927
高石市議会議員 松本善弘(高志会所属)です。



スマホをいってしまんをよもう!

コロナ「オミクロン株」の流行

— 苦しみの時代を乗り越えて —

新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」が世界各国で確認され、日本でも陽性反応者が多数出ています。昔から病気も事故もあります。それから、自然現象、天変地異、大雨、洪水、津波、地震、火事、そういうものはずっとあるので、これらと付き合っていくてはならないのです。



やはり、人類の営みは続かなければならないのです。特効薬があるとは思わずに、まずは適切な感染対策を行いつつ、毎日毎日を充実した生活に変え、神仏を尊び、各々の役割の中で、世の中にとってプラスになることにエネルギーを注いでいくことが大事です。

高石市議会議員定数削減の議論

令和2年11月30日に市民から高石市議会に提出されました要望書(高石市議会議員定数削減を求める要望書)に
応えるべく、高石市議会の代表者会議や議会運営委員会にて審議中です。高志会として、恒久的な財源捻出の観点及び近隣他市の議員定数との比較を元に提案しており、令和4年第1回定例会会期に向けて取り組んでおります。



スマホを置いて しよんをよもう!

— スマホ依存は国力低下に関わる弊害 —

コロナの流行や、経済の停滞、天災なども起きて、これまでの常識や日常が様変わりしました。家で過ごす時間が増えたからこそ、スマホで気分転換をするのもよいですが、将来の為に良質な本をじっくり読んでみませんか。

8月11日に国立青少年教育振興機構の調査報告が発表され、子供時代の読書量と大人になった時の知的能力に、明確な相関性があることを9月議会中の決算委員会にて指摘しました。

小中学校児童は、スマホの長時間の利用

令和2年度 高石小中学校生1日のインターネット接続時間 (高石市教育委員会の調査による)

	3時間～	4時間～	5時間～
市内全小学校4～6年生合計	13.1%	7.9%	10.3%
市内全中学校1～3年生合計	20.6%	11.5%	15.4%

1日3時間以上インターネットを利用する児童は小学生約31.3%、中学生では47.5%となっている。私たちの生活はより便利になりますが、多くのトラブルに巻き込まれる事もあります。代表的なトラブルとしては、下記が指摘されています。

- 人間関係 — いじめや誹謗中傷
文字でのトラブル
- 出会い・犯罪 — 性犯罪、誘惑・詐欺
- ネット依存 — 長時間利用
高額課金

令和2年度はコロナ禍という要因もあるかもしれませんが、コロナ前であった令和元年、平成30年でも同様の長時間の利用が目立っています。スマホコンテンツには、脳内に依存を作り出す快楽物質「ドーパミン」を分泌させる効果があり、冷静に見れば面白くないコンテンツを無駄に消費し続ける習慣ができ、またネットニュースやブログなどは、常に大量の雑情報が流れてくるので、「深く思考する」というプロセスが削がれます。さらに、スマホが常に気になる状況が生まれることで集中力も散漫になってしまいます。また、平成30年度から令和2年度までの3年間で、高石市の中学生児童の不登校率が5%を超えている。因果関係ははっきりいえないが、いじめ問題だけではなく、スマホ依存も一因にあるのではないかと指摘しました。



読書量の多かった人は、行動力、思考力、理解力が高い傾向

調査によると、小学校から高校生までの間に読書量が多かった人は、

大人になった時に
物事に進んで取り組む

行動力



客観的・論理的
に考える

思考力



自分を理解し
肯定する

理解力



が高い傾向にあるとのこと。

一方、文部科学省によると、公立校の学校図書館の一人当たりの年間貸出冊数は2020年度、小学校の49冊に対し、中学校は9冊、高校は3冊と進学するにつれて減っています。昨今、社会問題化している「スマホ依存」の弊害について、逆側から浮かび上がらせる調査結果と言えます。書籍として出版されている情報というのはやはり質が高く、知的な驚きや発見、創造性を刺激するものが豊富です。印刷された文字を丁寧に追って理解する行為の中で、洞察力や意志力も磨かれていきます。

スマホ依存は、国民を低質な発想にし、国力の低下にまで繋がる大きな問題

国家レベルで考えると、スマホ依存は国民を低質な発想にし、国力の低下にまで繋がる大きな問題です。本を手に取り、知的生産性を高める努力をする人が増えることが、国力低下を止める一因となるでしょう。

高石市では、数年前から学校司書を配置し、市立図書館との連携も行っているが、肝心の図書の数が少ない。スマホを置いて本を読もう！
これからの学校教育の課題だと指摘させて頂きました。

Topic 作り手は知っていた スマホのしすぎで起こる弊害

スマホは便利な反面、製作者側が儲かるよう意図的に中毒性のある作りになっているとされていて、使っていると気づかぬうちに集中力や記憶力などが低下してしまうといわれています。Apple社もアプリを制限する機能を導入しているほか、創業者であるスティーヴ ジョブズ氏は、自分の子どもの側にiPadを置くことすらしなかったといわれています。また、マイクロソフトの創業者であるビル・ゲイツ氏も、子どもが14歳になるまでスマホは持たせず、本を繰り返し読むように言っていました。

